

# 一般質問

## 市政のついでを問う

この定例会では、6月11日から13日までの3日間で、14人が登壇し、33項目にわたり、市政全般についてたまたま一般質問が行われました。一人一項目を要約し、掲載します。

### 一般質問項目（発言順）

※印が掲載した項目です。また氏名の下の（ ）は質問方式です。

- 佐野 泰基 議員（一問一答）
  - ※1 銀座地区の市有地の活用について
  - ※2 学校環境改善について
  - ※3 刈谷市における地産地消の取り組みについて
- 松永 寿 議員（一問一答）
  - ※1 教育行政の環境の変化について
  - ※2 公園の木製遊具の老朽化対策について
- 新海 真規 議員（一問一答）
  - ※1 防犯対策について
  - ※2 道路管理について
  - ※3 市有財産の未活用部分について
- 新村 健治 議員（一問一答）
  - ※1 市内巡回バス（公共施設連絡バス）の充実について
  - ※2 医療費無料の拡充について
  - ※3 境川流域の治水対策強化について
- 山本 シモ子 議員（一括質問一括答弁）
  - ※1 子どもの育ちが保障される保育運営について
  - ※2 低所得者層の暮らしを守る応援施策について
  - ※3 平和行政について
- 白土 美恵子 議員（一問一答）
  - ※1 子宮頸がんについて
  - ※2 ロコモティブシンドローム対策について
  - ※3 高齢者の住宅改修について
- 加藤 賢次 議員（一問一答）
  - ※1 今後の道路政策について
  - ※2 多面的機能支払交付金の概要について
- 上田 昌哉 議員（一問一答）
  - ※1 タブレット端末「ライブジョン」について
  - ※2 子ども・子育て支援新制度について
  - ※3 公園の活用について
- 鈴木 浩二 議員（一問一答）
  - ※1 南海トラフ巨大地震の新たな被害想定に対する今後の防災対策について
  - ※2 防災学習施設について
- 星野 雅春 議員（一括質問一括答弁）
  - ※1 刈谷駅周辺の課題について
  - ※2 憲法を生かす市政について
- 野村 文武 議員（一括質問一括答弁）
  - ※1 刈谷城築城の史実とまちおこしについて
  - ※2 憲法を生かす市政について
- 山内 智彦 議員（一問一答）
  - ※1 市職員の業務マネジメントについて
- 沖野 温志 議員（一問一答）
  - ※1 刈谷の税制課題について
  - ※2 刈谷のまちづくりについて
- 佐原 充 議員（一問一答）
  - ※1 空間や交通インフラを利用したシテイセールスについて
  - ※2 総合運動公園の施設の充実について

一般質問のすべての質問・答弁がホームページから映像でご覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像をみる」をクリックしてください。

**佐野 泰基 議員**  
障害を持つ子どもが安心して通うことの出来る学校整備を  
― 公共施設維持保全計画に基づきバリアフリー化を推進する ―

**問** 本市は、昨年度に特別支援学校の整備を表明したが、障害を持つ全ての子どもが通うわけではない。また、市内の小中学校では、昇降口などで段差が解消されていない学校もある。これは、肢体不自由の子どもにとつて大きな障害になる。今後、バリアフリー化を進めていく計画はあるか。

**答** 本市では、公共施設維持保全計画に基づく大規模改造の際に、バリアフリー化を実施しているほか、障害のある子どもが進学を決定した段階で、直ちに施設の状態を調査し、学校生活での支障が発生しないよう、必要な改修工事を行っている。

**松永 寿 議員**  
未来を担う子どもたちに安全でぬくもりある木製遊具を  
― 老朽化した遊具の更新を順次行い安全を確保する ―

**問** 現在、本市内に木製遊具が設置されている公園はいくつあるか。それらの木製遊具の総数とそれぞれの設置年度はどのようになっているのか。

**答** 刈谷市総合運動公園、岩ヶ池公園など7公園に整備され、現在33基ある。それらは平成6年度から平成19年度にかけて設置されている。

**問** 安全管理のための遊具点検の実施状況とその結果はどのようになっているのか。

**答** 年に1回専門技術者による目視や触手、打音による定期点検を実施し、その点検結果をもとに適切に補修等を行っている。平成25年度に実施した定期点検では、すべての木製遊具について使用可能な状態であると判定されている。

**問** 老朽化対策の今後の取り組みはどのようになっているのか。

**答** 保守点検、維持補修により木製遊具の安全を確保しつつ、劣化状況や経過年数を踏まえ、老朽化した遊具の更新を順次行っていく。

**問** 老朽化により更新する場



公園に設置されている木製遊具

**新海 真規 議員**  
地域、警察、行政が連携し効果的な防犯対策を  
― 夜間パトロール強化や防犯カメラの設置などで充実を図る ―

**問** 今年度、事業を拡充した夜間パトロール業務委託は、具体的にどのような内容のものか。

**答** 犯罪発生をさらに抑止できるような地区のパトロール隊では実施が困難な夜間の時間帯に、車両3台6人体制で毎日、警備会社による夜間巡回を実施している。巡回前には必ず、犯罪発生状況に基づく巡回エリアや監視方法等について、具体的に警察署からの指示を受けている。

**問** 防犯カメラは、地域や警察との協議を踏まえ犯罪防止に有効な場所に設置すべきと考えが、今後の設置予定はどのようになっているか。

**答** 街頭防犯カメラは、犯罪発生率の高い高津波エリアを中心に、学校や公園、逢妻駅周辺等に設置する。また、駅前輪船は富士松駅北口第2駐輪場を初め10カ所に、公共駐輪場は板倉駐車場と一ツ木駐車場に、それぞれ防犯カメラを設置する。

**問** まちで出会う知らない人に顔を見て挨拶する「声かけ運動」が、犯罪者にとって居心地の悪いまちになり、全市民でできる防犯対策になると思うが、市全体でこれに取り組むことについてどのように考えるか。

**答** 防犯につながる有効な手段であると考えられるため、声かけ運動の大切さを今後とも周知できるように検討していく。

**新村 健治 議員**  
大雨を想定した境川流域の治水対策の充実を  
― 県及び流域市町と連携し、水害対策計画を推進する ―



防犯カメラ設置の様子

**問** 境川・猿渡川流域水害対策計画の目的は、都市化の進展が著しい流域における連携を強化し、浸水被害対策を実施するものであるとのことだが、計画の内容はどのようなものか。

**答** 計画期間を概ね30年とし、河川管理者、下水道管理者及び流域内の地方公共団体が連携し、10年に一度程度の発生が想定される降雨に対し、床上浸水の解消を目指した計画である。



流化能力を高める工事（境川河口）

**問** 流域水害対策計画に基づく今年度の河川整備の主な取

組みと進捗状況は、どのようになっているか。

境川では流化能力を高める河床掘削を県が施工中で、河川断面を阻害する刈谷大府線の旧橋撤去工事も予定されている。逢妻川では同じく県が、下流部の亀城公園付近に貯留施設となる逢妻川調整池を施工中である。

県はどのように維持管理を行い、市はどのように要請しているか。

特定健康診査の受診票に「ロコモを知っていますか」という問診項目を新たに設定して用語説明を記載した。引き続き

### 山本 シモ子 議員 （主な答弁者：総務部長）

6月3日に核兵器廃絶を願って行われた平和行進団の受入に心からお礼を申し上げる。

平和行進団の受入、終戦記念日に黙祷の呼びかけや原爆パネル展等を行い、戦争の惨禍の記憶を風化させない努力を行う。

「受難の像」を平和の語り部としてフローラルガーデンよさみ内へ移設してはどうか。

現在、願行寺に供養されており、移設する考えは無い。

安倍政権の集団的自衛権行使容認の動きをどのように認

### 白土 美恵子 議員 （主な答弁者：福祉健康部長）

ロコモティブシンドローム（略称「ロコモ」）は、骨や関節、筋肉などの動きの信号を伝える神経などが衰え、「立つ」「歩く」といった日常生活が困難になり、寝たきりや介護が必要になる危険性が高い状態になることである。このロコモについて

ロコモティブシンドローム（略称「ロコモ」）は、骨や関節、筋肉などの動きの信号を伝える神経などが衰え、「立つ」「歩く」といった日常生活が困難になり、寝たきりや介護が必要になる危険性が高い状態になることである。このロコモについて

国の安全保障や外交の観点から、国政における今後の議論や動向を注視していく。

集団的自衛権行使容認とは、海外で戦争する国づくりである。国の動向を注視するとの答弁はあまりにも抽象的である。そもそも「平和」に対してどのように考えているか。

戦争や紛争、心配やめごとがなく、世の中が穏やかな状態であると捉えている。戦争テロや犯罪、災害などを抑止する努力を続けていく必要があると認識しており、市民の安全と安心を確保する施策を一層推進することが重要であると考える。

平成24年度に実施した市民健康意識調査では、ロコモの認知度は14・7%であった。

健康で自立した生活を送ることができる健康寿命を延ばすためにもロコモ予防が必要であるが、現在どのような取り組みをしているか。

市民健康講座として、整形外科医師による講話や健康運

動指導士による実技指導を行っている。その他に各地区でロコモ予防のリーフレットを用いた健康教育を実施している。また、予防対策として有効な骨や関節、筋肉などを適度に鍛えるための運動について周知に努めている。

ロコモの認知度を上げるために普及啓発をどのように行っていくのか。

特定健康診査の受診票に「ロコモを知っていますか」という問診項目を新たに設定して用語説明を記載した。引き続き

### 加藤 賢次 議員 （主な答弁者：鈴木副市長）

刈谷ハイウェイオアシスにおけるスマートICの設置を見送ってきた経緯は何か。

平成16年度当時の推計では、伊勢湾岸道路の交通量が1日当たり4万3,572台、ETCの利用率は30%、スマートICを設置した場合の交通量は1日当たり356台という少ない結果となり、費用対効果の観点から設置を見送っている。

スマートICの設置により期待できる効果に何かあるか。

市街地を通過する自動車が増え、交通渋滞の緩和と交通安全の向上が図られる。また、南海トラフ巨大地震の発生が危惧される今、緊急輸送道路として整備の必要性は非常に高いと考えられ、さらには、企業の操業環境にとって魅力的な立地となり、地域活性化も期待できる。

前回の調査に比べ、高速道路の交通量は2倍、ETC利用率は3倍と増えている。

企業内保育所と情報交換を実施していく。来年度から始まる子ども、子育て支援新制度には、認可外



ロコモ健康教育の様子（保健推進員研修）

市民だより等による普及啓発を行っている。

ハイウェイオアシスにスマートICの設置を見送ってきた経緯は何か。

平成16年度当時の推計では、伊勢湾岸道路の交通量が1日当たり4万3,572台、ETCの利用率は30%、スマートICを設置した場合の交通量は1日当たり356台という少ない結果となり、費用対効果の観点から設置を見送っている。

スマートICの設置により期待できる効果に何かあるか。

市街地を通過する自動車が増え、交通渋滞の緩和と交通安全の向上が図られる。また、南海トラフ巨大地震の発生が危惧される今、緊急輸送道路として整備の必要性は非常に高いと考えられ、さらには、企業の操業環境にとって魅力的な立地となり、地域活性化も期待できる。

前回の調査に比べ、高速道路の交通量は2倍、ETC利用率は3倍と増えている。

企業内保育所と情報交換を実施していく。来年度から始まる子ども、子育て支援新制度には、認可外



空から見たハイウェイオアシス

本市に認可外保育所は10園あり、定員379人で、通っている児童は230人になる。

認可外保育所は、園内に給食をつくる場所がないなどの理由で認可外という名称になっているが、待機児童の最終防衛ラインであると考えている。本市では、認可外保育所などのような支援を行っているのか。

本市独自の施策として、従業員の健康診断経費の補助などのほか、保護者支援として、

新たな被害想定では700棟が倒壊とされ、これを防ぐため、まず耐震診断を受ける必要がある。未診断家屋は約何軒あるのか。また診断家屋の実績として、一応倒壊しないとされる評点1以上、倒壊の可能性があるとされる0.7以上1未満、倒壊の可能性が高いとされる0.7未満の3段階での割合はどのようなものか。

26年3月末時点で、木造住宅無料耐震診断を受けていない家屋は約6千戸である。また、耐震診断を受けた家屋の評点の割合は、1以上が約10%、0.7以上1未満が約24%、0.7未満が約66%である。

耐震診断を受けた家屋のうち、段階的耐震改修工事の対象となる、倒壊する可能性が高い家屋の中でも全壊率が急激に高くなる評点0.4以下の家屋の割合、また、実績はどのようなものか。

企業内保育所への補助制度が示されたことを受け、企業内保育所と情報交換を実施している。今後も企業内保育所の意向を確認しながら検討していきたい。

### 鈴木 浩二 議員 （主な答弁者：建設部長）

新たな被害想定では700棟が倒壊とされ、これを防ぐため、まず耐震診断を受ける必要がある。未診断家屋は約何軒あるのか。また診断家屋の実績として、一応倒壊しないとされる評点1以上、倒壊の可能性があるとされる0.7以上1未満、倒壊の可能性が高いとされる0.7未満の3段階での割合はどのようなものか。

26年3月末時点で、木造住宅無料耐震診断を受けていない家屋は約6千戸である。また、耐震診断を受けた家屋の評点の割合は、1以上が約10%、0.7以上1未満が約24%、0.7未満が約66%である。

耐震診断を受けた家屋のうち、段階的耐震改修工事の対象となる、倒壊する可能性が高い家屋の中でも全壊率が急激に高くなる評点0.4以下の家屋の割合、また、実績はどのようなものか。

企業内保育所への補助制度が示されたことを受け、企業内保育所と情報交換を実施している。今後も企業内保育所の意向を確認しながら検討していきたい。

企業内保育所への補助制度が示されたことを受け、企業内保育所と情報交換を実施している。今後も企業内保育所の意向を確認しながら検討していきたい。

企業内保育所への補助制度が示されたことを受け、企業内保育所と情報交換を実施している。今後も企業内保育所の意向を確認しながら検討していきたい。



無料で実施している木造住宅耐震診断

評点0.4以下の割合は約21%で、26年5月末時点で段階的耐震改修工事の実績は無い。

市で行っているローラー作戦などで、危険性が非常に高い、評点0.4以下の住宅への集中的な啓発は可能か。

今後、耐震化の啓発において、特に倒壊の危険性が高いことを認識していただけるよう努めていく。